

組織の在り方その他組織及び業務に関すること

1 沿革 ※大学院は省略

【前橋市立工業短期大学】

昭和27年 夜間部のみの工業短大を設立

平成6年 昼夜開講制へと改組（建設工学科、建築学科、情報工学科）

【前橋工科大学】

平成9年 昼夜開講制を採用した4年制工学部単科大学として発足

平成19年 学科改編（昼開講：社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科＋社会人を対象にした夜間主コースを一つにまとめる形で総合デザイン工学科を設置）

平成25年 公立大学法人前橋工科大学に移行

2 財政面での課題

- (1) 運営費交付金（約8億円）等で財政支援をしている→市の負担大
- (2) 経常経費の増額や臨時経費が発生し、諸経費が増加している→歳出増
- (3) 今後消費税の引き上げや老朽化した施設の整備等が想定される→歳出増
- (4) 学科数が多い→教員人件費増
- (5) 大学院において定員割れの専攻がある→歳入減
- (6) 退学率が高い→歳入減

このままの状況が続けば、運営費交付金を含めた市の支出額が増えることになり、市の財政を圧迫し、大学の運営を維持していくことが困難となる。業務運営の効率化及び教育研究等の質の確保ができる組織体制とするため、学科統合等の組織改編が必要である。

3 総合デザイン工学科の課題

- (1) 社会人を対象にした学科であるが、近年社会人の入学者がいない
- (2) 授業料が他学科と比較すると安い
- (3) 学力、卒業率が他学科と比べ劣っている

総合デザイン工学科にはいくつかの課題があるが、一番の課題は、社会人の入学者がいないことである。「社会人の再教育」という学科設置の目的とは乖離があり、夜間開講の意義は薄れていると言える。

4 大学への要請

資料3、6ページ参照

《参考》次期中期目標

5 業務運営の改善及び効率化に関する目標

③教育・研究上の基本組織は、社会情勢の変化や時代のニーズに柔軟に対応するため、必要に応じて改組及び改編を検討する。